


# 質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市の行う事業や市の方針について、議員が質問を通し主張・提言・指摘を行います。市の重要な施策は、この本会議で決定されます。

12月は個人質問のみです。質問時間は答弁と併せて40分です。

三田市議会会議録  検索

三田市議会インターネット中継  検索



## 今北 義明議員

盟政会



### 市民病院

## 急性期医療の堅持には市民病院改革が必要

**議員** 病院を取り巻く医療情勢が激変する中で、急性期医療を守るためには、魅力ある病院づくりに向け、今こそ大胆な改革が必要であると考えているが、当局の見解を伺う。

### 市 この地域の急性期医療（市民の命）を守りたい

市民・医療スタッフにとっての魅力ある病院づくりは、改革を進めるうえでの第一優先事項であると考えており、広域的な視野で、限りある資源や投資に見合う病院づくりを目指し、市民の命を守るための改革を進める。（米田市参事）

**他の質問** ● 財政状況と今後の見通しについて ● 産業の振興について ● 水道事業について

## 美藤 和広議員

市民の会



### まちづくり

## ICTを活かして、企業誘致を！

**議員** 都心の企業は危機管理として、データや事務所の分散を考えている。災害に強い三田は有力候補である。通信環境整備と、学校再編の空き学校利用で、企業誘致を推進してはどうか。

### 市 事業所等の誘致に必要な支援や仕組みづくりに取り組む

高速通信環境がほぼ整備できたが、国・通信事業者の一層の高速化を注視する。

高速通信環境が整っている学校再編後の施設のオフィス等への活用は、事業者を呼び込む有効な手段の一つと考える。立地の利点を発信するとともに、必要な支援や仕組みづくりに取り組む。（森市長）

**他の質問** ● 交通課題から見た三田の夢について ● 新婚世帯の妊娠・出産支援について

## 松岡 信生議員

公明党



### 子育て

## 市立幼稚園における3歳児保育の実施について

**議員** 来年10月より3歳児を含む幼児教育無償化となる。市は2019年度は「準備を進める」に留めている。保護者の立場から勘案するに「2020年度実施」を目指すことは重要と考える。具体的な実施年度を伺う。

### 市 2020年度の実施に向け検討

3歳児からの無償化に伴い3歳児の入園希望増加が見込まれる。ニーズに対応するため、現在3歳児保育未実施の公立幼稚園の果たす役割は大きい。公立幼稚園の再編計画を前提に、2020年度を目的に3歳児保育の実施を検討したい。（入江副市長）

**他の質問** ● 2019年度予算の編成方針について ● 海洋プラスチックごみ拡大防止に向けた取り組みについて

## 平野 管子議員

公明党



### エコ

## 家庭で余っている食品を活かすフードドライブを

**議員** 食べられるのに廃棄されている家庭内の食品を、市のイベントや地域行事等の場所で回収し、必要とされる「子ども食堂」等に提供する「フードドライブ」を実施する考えについて。

### 市 フードドライブを通じて子ども食堂へ支援を行う

この活動は、食品ロス削減の意識改革にもつながると同時に、食品循環の意識啓発につながる。「子ども食堂」等に対するフードドライブは重要な取り組みであり、支援が必要と考える。今後は食堂運営団体の意見も聞きながら、有効な仕組みを検討する。（赤松理事）

**他の質問** ● 平成31年度予算要求の状況について ● 5歳時発達相談の今後の取り組みについて

## 長谷川 美樹議員

日本共産党三田市議団



### 健康

## ピロリ菌除去で胃がん対策へ補助を

**議員** WHOや国内の専門学会も重要と指摘しているピロリ菌除去で胃がんの罹患を少なくできる。効果が期待できる中学生のピロリ菌検査と保菌者の除菌費用の補助を行い、胃がん対策と家族・本人のがん検診意識啓発の実施を。

### 市 国の動向や他市の状況を参考に慎重に検討

一部の市では実施しているが、国からの指針が示されておらず、安全性も評価が確立しているとは言えない。国・他市の動向を参考に慎重に検討する。授業を通じ、また親世代へは検診案内等で、がんの認識を深めるよう啓発する。（田中健康福祉部参事）

**他の質問** ● 情報公開のあり方について ● 小中学校における歯科検診結果と対策について

## 國永 紀子議員

日本共産党三田市議団



### 福祉

## 生活困窮者相談窓口の設置について検討は

**議員** 生活困窮者の抱える複合的な相談に応じ、早期解決に向かうために、庁舎内の連携のみでなくワンストップで対応できる窓口の設置が必要と考えるが検討状況及び市の見解は。

### 市 生活困窮者が抱える複合的な問題解決に取り組む

ワンストップ窓口は必要と考えており、次年度から健康福祉部を福祉共生部に改正し、生活困窮者対策に特化した組織を設置する予定。生活困窮者が抱える複合的な問題解決に向けて専門性の確保、人材・資源の開発等を解決しながら進めていく。（森市長）

**他の質問** ● 三田市立学校統廃合問題について ● 市内小学校のエアコン設置について

## 佐貫 尚子議員

新政みらい



### 医療

## 服用されずにため込んでしまう残薬について

**議員** 高齢化で服用管理ができず、薬のため込みや間違った服用等が起きているが、今後、更に残薬の増加が予想される。服用の適正化で医療費の削減にもなるが市の取り組みは。

### 市 関係機関の連携強化を支援、医療適正化の啓発を行う

服用は自己責任が基本だが、今後は薬剤師やケアマネジャー等関係機関の連携強化を支援し、また、薬剤を多く処方されている国民健康保険の被保険者には医療費適正化の啓発書面を送る。（田中健康福祉部参事）

**他の質問** ● 市民の主体的な健康管理と意識啓発について ● 資格取得支援による人材育成について